

議案第 40 号

市立大楠幼稚園の廃園について

市立学校設置条例（昭和 39 年 4 月 1 日条例第 39 号）第 2 条の規定により設置する横須賀市立大楠幼稚園の廃園について次のとおり定める。

令和 4 年 10 月 6 日提出

横須賀市教育委員会

教育長 新 倉 聡

横須賀市立大楠幼稚園は、令和 6 年度末で廃園とする。

（提案理由）

市立幼稚園廃園の議決の改正について（平成 28 年 5 月 27 日議決）にかかる市立大楠幼稚園の廃園時期を定めるため。

参 考

議案第 24 号

市立幼稚園廃園の議決の改正について

「市立幼稚園の廃園について」（平成 27 年 8 月 21 日議決）を次のとおり改正する。

平成 28 年 5 月 27 日提出

横須賀市教育委員会

教育長 青 木 克 明

本文中「平成 30 年度末で廃園とする。」を「廃園とする。ただし、廃園の時期は、市立幼稚園を取り巻く状況に応じて別途定める。」に改める。

（提案理由）

市立幼稚園を取り巻く状況の変化を踏まえ、廃園時期を先送りする必要があるため

参 考

議案第 44 号

市立幼稚園の廃園について

市立学校設置条例(昭和 39 年 4 月 1 日条例第 39 号)第 2 条の規定により設置する幼稚園の廃園について次のとおり定める。

平成 27 年 8 月 21 日提出

横須賀市教育委員会

教育長 青 木 克 明

市立幼稚園は、平成 30 年度末で廃園とする。

(提案理由)

市立幼稚園の廃園を進めるに当たり、基本となる事項を定める必要があるため

市立大楠幼稚園の廃園について

1 市立幼稚園の廃園にかかる議決の経過

(1)「市立幼稚園の廃園について」(平成27年8月21日議決)

市立幼稚園の廃園時期については、当初、平成29年度末とする方向で検討を進めていましたが、市議会や、保護者等を対象とする説明会での(仮称)市立中央こども園の開園時期と廃園時期を合わせることや、私立幼稚園での3年保育を考えた場合、時間的余裕がないとのご意見を踏まえ、「平成30年度末で廃園とする。」と決定しました。

(2)「市立幼稚園の廃園の議決の改正について」(平成28年5月27日議決)

平成27年8月21日に議決した「市立幼稚園の廃園について」において、廃園時期を平成30年度末とした理由の一つである(仮称)市立中央こども園の開園時期が遅れることとなったこと。また、市立大楠幼稚園の設置に関する地元町内会との協定書の存在が明らかになったことから、平成30年度末の廃園は困難と判断し、市立幼稚園は「廃園とする。ただし、廃園の時期は、市立幼稚園を取り巻く状況に応じて別途定める。」と改めました。

2 議決の改正理由

令和4年度の入園児が一桁の9人となり、大楠幼稚園の存続に関わることから廃園時期についての検討を再開しました。

廃園時期の検討に当たっては、大楠幼稚園保護者、地元町内会長、大楠幼稚園長、大楠小学校長で構成する大楠幼稚園関係者連絡会、未就園児(0～3歳)保護者説明会、町内回覧等により検討状況の周知及び意見聴取を行ってきました。

今後も園児数の減少が見込まれ、幼児教育の水準を維持していくことが困難なことから、大楠幼稚園は、令和6年度末で廃園とします。

なお、地元町内会長でもある長坂ごみ処理施設対策協議会の会長にもご出席いただいておりますが、埋め立て地は、安定して問題なく使用されていることや大楠幼稚園と荻野小学校の設置をもって協定書の内容は、ほぼ達成されたとの見解が示されており、一定の整理がついたものと考えています。

【参考】

1 保護者・地域関係者への説明会等の経過

年月日	会議等
令和4年3月4日	第1回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年4月28日	第2回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年5月上旬	大楠地域町内会自治会へ回覧配布
令和4年5月14日	未就園児保護者説明会
令和4年6月20日	大楠幼稚園保護者説明会
令和4年7月15日	第3回大楠幼稚園関係者連絡会
令和4年8月上旬	大楠地域町内会自治会へ回覧配布
令和4年9月16日	第4回大楠幼稚園関係者連絡会

2 これまでいただいている主なご意見

(閉園に関すること)

大楠幼稚園は支援のレベルが高い。私立幼稚園が支援を要する園児の受け入れに行っていることが閉園の理由になることは理解できない。他の幼稚園では体験できない事など、下の子どもにも体験させたい。

保護者と町内会の心情としては存続してほしいが、園児数が減少する現状では、維持できない。納税者の立場からすると、閉園するタイミングだと思う。園児が少なくなっている中で、子どもが本当に幸せな幼児教育を受けられるのか考えなければならない。

3年保育や延長保育を実施し、存続を検討してほしい。

もっと未来の子どもたちのために考えてほしい。予算よりも。

(閉園時期に関すること)

3年保育を検討するために、近隣の幼稚園の説明会や体験保育などが夏までに集中しているため、案1(令和5年度末閉園)、案2(令和6年度末閉園)ともに反対。

下の兄弟姉妹が卒園するまでの5年間は存続してほしい。

閉園時期について、案3として1年延ばして、令和7年度末閉園を検討してほしい。

昨年の願書配布時に単学年となる可能性について同意を保護者に得ていないのであれば、案1は考えられない。

(閉園の影響等に関すること)

大楠幼稚園の閉園後も大楠地域において、大楠小学校との幼小連携が図れるようにしてほしい。

すみれ組(4歳児)の人数が少ないことが心配。閉園するにしても、大楠幼稚園で良かったと思ってもらいたい。

下の子が3歳になるが、上の子どもと下の子どもを別の幼稚園に通わせることは難しい。

児童の減少、予算の問題については、民間の幼稚園にも言えることで、民間の幼稚園が廃園となったとき、公立の幼稚園がないと市外や遠方の幼稚園等を考えなくてはならなくなるため困る。

閉園まで大楠幼稚園の教育水準を維持してほしい。

(周知に関すること)

現在3歳の子が今から私立幼稚園に入ると、途中入園になってしまう。幼児教育であれば、入園するタイミングを他の子と一緒にしたいと考えているため、閉園時期を早めに教えてほしい。

関係者連絡会の中で出されている要望を他の説明会の場でも伝えてほしい。周知の方法について、回覧板では漏れもあるため、教育委員会のホームページのほか、大楠幼稚園のホームページにも掲載してほしい。また、回覧板等は、余裕をもって回してほしい。

閉園の周知を行った際に、さらに入園希望者が減ることが心配。

地域の方との意見交換の場を設けてほしい。

これまでの意見交換の内容をQ&A形式でホームページ等で周知してほしい。

(閉園後の対応に関すること)

民間の幼稚園では、入学金、バス代、制服代など経済的負担が大きいため、補助金等を検討してほしい。

待機児童などの受け皿が無いなど困る人が出ないように対応してほしい。

(跡地利用に関すること)

この地域に子どもたちが安全に遊べる場が少なく、学童クラブ等がほしいという声がある。高齢者や大人も活用できる地域交流の場も提案したい。

大楠地区には、未就学児や保護者同士が交流できて集える場がないため、そのような場を設けてほしい。

大楠地区に私立幼稚園の誘致等をして、大楠の自然豊かな環境を使った教育を検討してほしい。

跡地利用について、具体的な案を出したほうが良いと思う。

検討に当たっては、アンケートを取るなど地域の意見を聞いてほしい。

(協定書に関すること)

埋立地は問題なく使用されている。大楠幼稚園と荻野小学校の設置によって、協定書の内容の多くは達成したという理解をしている。保護者と市でよく話し合いをすべきだと思う。